

平成 24 年 8 月 1 日

報道関係各位

日本化粧品工業連合会

「化粧品産業の展望を見据えた日本化粧品工業連合会の将来ビジョン 2012」を策定

日本化粧品工業連合会*は、7月18日(水)に開催した定時総会において「化粧品産業の展望を見据えた日本化粧品工業連合会の将来ビジョン 2012」を決定しました。

※ 日本化粧品工業連合会の組織概要や設立の目的、沿革は、参考資料(P.3)に掲載

現在、わが国は急激な円高や株安、さらには少子高齢化等の要因により経済成長率が低下し、長引くデフレ不況のただ中にあります。化粧品業界においても、参入企業は増加しているものの、化粧品の出荷総額は減少傾向にあり厳しい状況が続いています。

こうした中、日本化粧品工業連合会は、化粧品産業に対する消費者の信頼性の向上と、当連合会の会員企業の円滑なグローバル展開と経営の持続性、そして化粧品産業の発展を通じた人と社会の幸福への貢献に資することを、社会や化粧品業界に表明するために、将来ビジョンを策定しました。

化粧品産業の展望を見据えた
日本化粧品工業連合会の将来ビジョン 2012

日本化粧品工業連合会は、化粧品産業の発展を通じて、世界中の消費者が安心して心豊かな化粧生活を送れることに寄与し、人と社会の幸福に貢献します。

【日本化粧品工業連合会ミッション】

- 消費者の化粧品産業に対する信頼性の向上
- 日本の化粧品産業全体のグローバル競争力の強化

1、消費者の化粧品産業に対する信頼性の向上のために…

- ① より安全な製品の提供を行い、消費者の安心の確保に取り組みます。
- ② 化粧品の安全性を確保するとともに有用性を担保し、併せて品質を保証する業界指針を充実させ、その遵守を徹底します。
- ③ 環境対応への取り組みを積極的に推進し、地球環境の保全に貢献します。
- ④ ホームページの充実など、積極的かつ透明性のある情報公開を推進します。

2、日本の化粧品産業全体のグローバル競争力の強化のために…

- ① 会員企業が海外で円滑にビジネスを行うために、世界各国の化粧品規制情報など海外情報の収集と提供に努めます。
- ② 世界各国の工業会と連携し、化粧品規制の国際調和に向けて活動します。
- ③ アジアの一員として、文化・習慣・嗜好性を尊重しつつ、共通の枠組みづくりを協調して推進し、アジアの化粧品産業全体として、世界の化粧品産業の持続と発展に貢献できるよう尽力します。

このビジョンを実現するために、日本化粧品工業連合会は、組織をこれまでの課題解決型から中長期的な視点にたった戦略型に移行するとともに、各国の行政や業界団体との連携や交渉力を強化するための基盤整備を早急に進めるなど、積極的な取り組みを推進してまいります。

以 上

この件についてのお問い合わせは、日本化粧品工業連合会 内田、坂口までお願いします。

電話 03-5472-2530

参考資料

日本化粧品工業連合会について

日本化粧品工業連合会は、化粧品の製造業者によって業界の健全な発展を推進するために、昭和 34(1959)年 7 月 24 日に設立した全国団体で、東京化粧品工業会、西日本化粧品工業会および中部化粧品工業会の 3 工業会によって構成されています。

<設立の目的>

化粧品製造業者団体相互の親睦、連絡を図り、各団体に共通の利益を増進し、化粧品工業の発達に必要な事項について業界の公正な世論を明らかにし、業界の健全な発展を推進し、国家並に国民生活の安定向上に寄与する。

<沿革>

昭和 25(1950)年 2 月	東京化粧品工業会設立	会員数:441 社
昭和 25(1950)年 6 月	西日本化粧品工業会設立	会員数:502 社
昭和 34(1959)年 7 月	日本化粧品工業連合会設立	
平成 7(1995)年 3 月	中部化粧品工業会設立	会員数:112 社

(会員数は 2012 年 4 月 1 日時点)